

学 校 教 育

次世代を担う児童生徒が、生涯にわたって学び続け、自らの夢や志の実現に努力すると共に、地域の伝統と文化を基礎として社会に貢献できる人材育成を目指して、学校教育を推進します。

このため、特に本年度は保・小・中・高及び家庭や地域との連携を図りながら、下記の重点目標を推進します。

① 魅力ある学校づくり

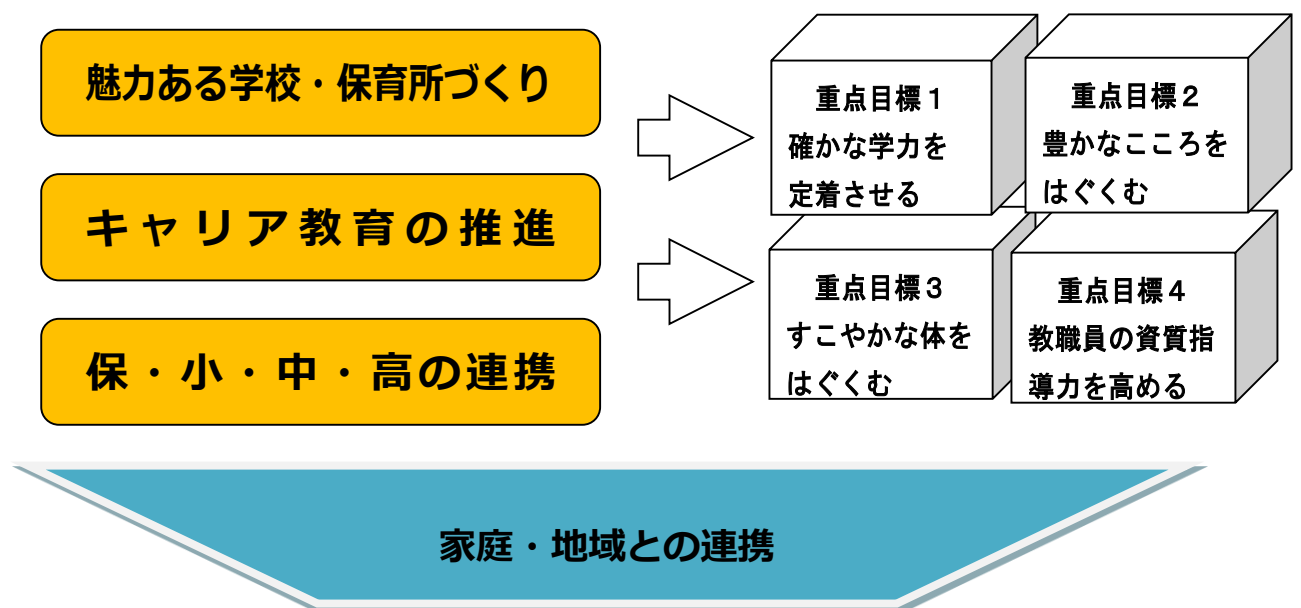
「学校力」を高め、学校教育の質を向上させる。

② キャリア教育の推進

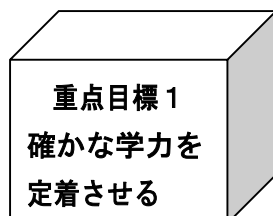
「夢」や「志」を喚起し、豊かな人間性を育む教育を推進する。

③ 保・小・中・高の連携

就学前から高等学校までの「学び」を繋ぐと共に、関係機関の連携・協働の仕組みをつくる。



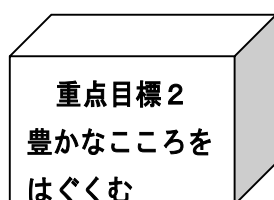
【重点目標と具体的な取組】



- ★基礎的、基本的な知識・技能の確実な習得を重視した、わかる楽しい授業づくりを充実します。
- ★子どもたちの言語活動の充実と学習習慣を確立するための取組を強力に進めます。
- ★校種間の連携を積極的に推進し、学習内容の系統と定着を明確にします。
- ★特別な配慮を要する子どもに対する指導や支援ができる体制を整備・強化します。
- ★国際理解及びコミュニケーション能力を育成します。

具 体 的 な 取 組	到 達 目 標
①学力向上検討委員会の開催（年間３～５回） ・児童生徒の学力実態調査の実施・分析および学力向上支援策（CRT、全国学力学習状況調査、高知県版学力調査） ・ユニバーサルデザインに基づいたどの子もわかる授業づくりの推進 ・漢字検定、英語検定の受検支援	・各校でユニバーサルデザインに基づく授業作りが実施される。 ・主体的・意欲的に授業に取り組む児童の割合が増える。 ・CRT、全国学力学習状況調査、高知県版学力調査、全学年全教科平均以上になる。 ・【漢字検定合格率】 - 小６・５級以上９０％ - 中１・４級以上７０％ - 中２・４級以上９０％ - 中３・３級以上８０％ ・【英語検定合格率】 - 中１・５級以上９０％ - 中２・４級以上８０％ - 中３・３級以上７０％
③ ICT 環境の整備、ICT 支援員の配置による授業改善	・ICT活用指導力チェックリストにおいて肯定回答８０％以上になる。 ・児童の学習意欲が向上する。 ・学力が向上する。

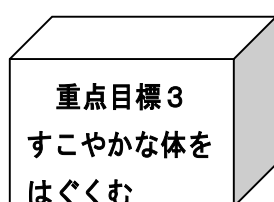
	・ C R T、全国学力学習状況調査、高知県版学力調査、全学年全教科平均以上になる。
③算数シート、漢字シートの配布、活用	・ 学年配当漢字および九九の定着率が向上する。(C R T・高知県版学力調査の該当問題正答率100%)
④学習支援員(各小学校)の配置・活用	・ C R T、C評価の児童の正答率が上がる。
⑤小学校での夏休み子ども教室の開催	・ 学習習慣が定着する。
⑥家庭学習の習慣化を図る活動推進 ・ 家庭学習強化週間の実施(年間3回) ・ 「家庭学習の手引き」リーフレットの活用推進 ・ 子育て資料「つなげて伸ばそう18年」の活用推進	・ 家庭学習時間の達成率90%以上になる。 ・ 家庭学習の内容が充実する。
⑦文集「もとやま」(第55集)の編集・発刊	・ 書く能力が高まる。
⑧就学指導委員会の開催(年2回以上)	・ 発達に応じて適切な支援がなされると共に支援を必要とする児童生徒が充実した学校生活を送ることができる。
⑨本山町発達支援協議会の開催 (特別支援教育コーディネーター、保健師、保育士) ・ 引き継ぎシートによる校種間引き継ぎの実施	・ 児童生徒の情報共有ができる。 ・ 適切な支援の元に、どの児童生徒も自信を持っていきいきと学習・自己表現できる。 ・ 引き継ぎシートによる校種間の引き継ぎが100%になる。
⑩ALTの学校訪問・外国語活動の推進	・ 教師や児童生徒が積極的に英語を使いコミュニケーションをとることができるようになる。 ・ 「外国語活動の授業が好き」と答える児童・肯定回答が90%以上。 ・ 異文化・異国についての関心・理解が深まる。



- ★豊かな人間性と社会性を育てる体験的な学習を推進します。
- ★心に響く道德教育を推進し、自尊感情を高める教育を進めます。
- ★好ましい人間関係の醸成と不登校を生まない学校づくりを支援します。
- ★人権尊重の精神を涵養し、一人一人の人権を大切にする教育を進めます。
- ★学校図書を充実し、感性を磨く読書活動を推進します。

具 体 的 な 取 組	到 達 目 標
① 本山町道德教育推進会議の開催 ・ 読み物資料の活用 ・ 道德授業の改善研究 ・ 児童生徒の意識調査の実施・分析	・ 道德の授業スタイルが確立する。 ・ 道德意識調査結果肯定回答が昨年度よりも向上する。
② 本山町人権教育・啓発推進協議会との連携 ・ 人権教育主任会（保小中高）の開催 ・ 公開授業研修会（本山小学校）	・ 人権教育についての情報共有ができる。
③ 教育相談体制の充実・強化 ・ Q－Uテスト年間2～3回実施 ・ 不登校、長期欠席傾向の児童生徒の早期発見、早期対応 ・ 「相談サロン」の実施 ・ 教育相談活動の充実 Q－Uの実施と分析・活用 スクールカウンセラーの招致 毎日の欠席状況調査	・ Q－Uの学級満足群割合が増える。 ・ どの児童生徒も安心して学校生活を送ることができる。 ・ 相談サロン利用者の満足度が上がる。 ・ 児童・生徒が、互いに認め合い、高め合える集団になる。 ・ 支持的風土のある学級になる。
④ 学校図書館支援員の配置と活用 ・ 学校図書館の環境整備 ・ 授業と連動した図書支援の実施 ・ 読書推進活動	・ 学校図書館利用者数合計が昨年度より600回増える。 ・ 年間貸し出し冊数が前年度より600冊増える。 ・ 授業に学校図書を利用する回数が増える。 ・ 「読書好き」に対するアンケート肯定回答が85%を超える。

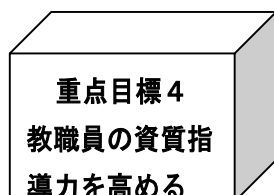
	・ C R T、全国学力学習状況調査、高知県版学力調査、全学年全教科平均以上になる。
⑤郷土を愛する教育の推進 ・ 児童生徒の郷土理解資料の配布・活用 ・ 第 1 2 回子ども議会の開催 ・ 地域行事の情報発信	・ 歴史・文化資料集を活用した授業により、児童生徒の郷土への興味関心が高まる。 ・ 道徳意識調査の郷土を愛する項目の肯定回答が 9 0 % 以上になる。



- ★進んで運動やスポーツに親しむ能力の育成と体力の向上を図ります。
- ★自らが健康な生活を実践できる自己管理能力を育成します。
- ★地域や旬の食材を積極的に取り入れた特色ある学校給食を推進します。
- ★学校、家庭、地域と連携した食育の充実を図ります。
- ★学校の防災体制の充実と家庭や地域と連携した防災教育を推進します。
- ★不審者等への対策を整備し、子ども達が安心して学べる環境を整えます。

具 体 的 な 取 組	到 達 目 標
①全国及び県の体力・運動能力等調査の実施と結果の活用 ・ 体育の授業改善	・ 全国体力・運動能力・運動習慣等調査、児童質問紙「自主的に運動したい」項目に対する肯定回答が 8 0 % 以上。
②本山町学校保健委員会の開催 ・ 「早ね早おき朝ごはん」運動推進 ・ 全国及び県の体力・運動能力等調査の実施と結果の活用 ・ 情報共有の講演会開催	・ 家庭に規則正しい生活習慣への取組が普及する。 ・ 教職員に、健康教育についての情報が共有される。
③栄養教諭による各校での食育指導 ・ 小中学校の系統性に立った食育指導の企画・実践	・ 児童、家庭への食育が普及される。
④本山町スクールガード委員会の活動 ・ 月 2 ～ 3 回の実施、高校生（フリューゲル	・ 児童生徒が安全に学校生活を送ることができる。

ス) との連携	
⑤町と連携した防災訓練の実施	・ 地域の実態に即した防災意識が高まる



- ★校内研究を積極的に支援するとともに、教職員相互の研修を充実します。
- ★中高一貫教育に取り組んでいる学校相互の連携を深め、嶺北型中高一貫教育の推進に係る研修を充実します。
- ★自己研鑽に努め、地域社会の一員としての視野が広がる研修をします。
- ★学校の組織力と教職員の危機管理意識を高めます。
- ★学校評価を充実させ、学校力を高めます。

具 体 的 な 取 組	到 達 目 標
①本山町連携教育推進協議会の活動 ・ 本山町連携教育活動の企画・立案・進捗管理・評価	・ 道徳意識調査共通項目におけるすべての肯定回答が90%以上になる。 ・ 保小中連携した学びが実施され基礎学力が向上する。(CRT、全国学力学習状況調査、高知県版学力調査、全学年全教科平均以上になる。)
②先進校視察研修 ・ 保小中高の教員参加の視察研修を実施し、本町の課題解決への取組を検討する。	・ 先進校の取組が町内の取組に反映される。
③教職員研修会の開催(年間3回) ・ 防災教育、人権教育、授業改善等に関する研修会の実施	・ 小中系統立った学びの情報共有がされる。 ・ 研修の学び還元率90%以上になる。
④中高一貫教育推進協議会に係る事業への協力 ・ 定期的な連絡調整会への参画 ・ 連携校間の交流研修の支援 ・ 部活動・特別活動の交流・支援 ・ 広報活動への支援	・ 嶺北型中高一貫教育の特色づくりが強化される。

⑤嶺北地域教育委員会連絡協議会関係の研究推進 ・ 中学校教科ネットワーク研修 (英・数・国・音・理・社・家) ・ 学校事務共同化研究の推進	・ 研修の学びが日々の授業改善に反映される。 ・ 研究内容が日々の業務に反映される。
⑥本山町新転入教職員研修会（４月と８月に実施）	・ 研修の満足度（アンケート肯定回答）が９０％以上になる。 ・ 研修内容の授業還元率が７０％以上になる。
⑦本山町学校関係者評価委員会の開催 ・ 学校評価への適切な評価をする。	・ 適切な学校運営がなされる。